

サロンの本棚から

サロンには詰碁、布石以外にも囲碁に関する小説、随筆が置いてあります。

その中からいくつかご紹介します。今回は、「名人」。川端康成が昭和13年6月～12月にかけて打ち継がれた本因坊秀哉の引退碁の観戦記を戦後発表したものです。6ヵ月にかけて一局を完成させるじりじりとしたやり取りと、黒121手目の封じ手が圧巻です。引退碁の相手である大竹7段は実は木谷実7段です。



短編の中に木谷7段の人となりをおぼろげに思わせるエピソードが織り込まれています。新潮文庫 473円

2020 七大タイトル者

タイトル名	棋士名	開催月	賞金	主催
棋聖 No1	井山裕太	1-3月	4500万円	読売新聞
名人 No2	井山裕太	9-11月	3100万円	朝日新聞
本因坊 No3	井山裕太	5-7月	2800万円	毎日新聞
王座 No4	芝野虎丸	10-12月	1400万円	日経新聞
天元 No.5	一力遼	10-12月	1400万円	新聞三社
碁聖 No.6	一力遼	6-8月	800万円	新聞12社
十段 No.7	芝野虎丸	3-4月	700万円	産経新聞

日本棋院千葉県中央支部 囲碁サロン千葉中央